

すみれ通信



令和 7 年 10・11・12 月発行 第 90 号

すこやか子育てのお手伝い
悩まないで！「すみれ」がお手伝いします

児童家庭支援センターすみれは子育てに関する不安や心配事の相談に応じ、一緒に考えていく身近な相談機関です。お気軽に相談下さい。たとえば育児・発達の遅れ・虐待・しつけ・性格・いじめ・不登校・非行などの相談をお受けします。

相談は電話相談・来所相談・訪問相談を行っています。

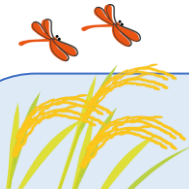
*秘密は厳守します。相談料は無料です。



子育てホットライン 079-238-3553

*受け付けは月～土 9時～18時まで(緊急時は24時間365日受け付けます)

すみれではこんな活動をしています



子育てライブラリー すみれ

交流スペースでの自由遊び、絵本の読み聞かせ、絵本の貸し出しを行います。また簡単な手遊びや親子体操など、からだを使った遊びで親子のふれ合いができるプログラムを行っています。

開催日：毎月第1,3金曜日 10時～11時30分 … 後半は絵本の読み聞かせや設定遊びなど
10/3、17、11/7、21、12/5、19

会場：相談支援棟 1階交流スペース

人数：親子6組(最大15名まで) *当日9時～9時30分の間にご予約ください。

参加費：1歳以上のお子様1人につき基本50円(活動内容により変動する場合があります。)

*体調が優れない方は利用をお控えください。

*予約人数は、感染症等の状況により変更する場合がございます。



交流スペース開放日

ゆっくり、子育てのよもやま話をしませんか？

開催日：月～金のいずれか及び第1土曜
10時～11時30分

人数：親子6組(最大15名まで)

*当日9時～9時30分にご予約ください。

*開放日はすみれ玄関とホームページで掲示いたします。
ご確認ください。

発達相談日

発達が気になるお子さんの相談に心理士が応じます。また保育園等の機関に心理士を派遣します。

(予約制、別途日程調整可)

実施日：毎月第4金曜日 10時～12時
10/24、11/28、12/26



ご予約は079-230-4445(児童家庭支援センターすみれ)へお電話ください

里親フォーラムが開催されました



里親支援センター希望の丘開設 1 周年記念として 8 月 6 日アクリエひめじにて里親フォーラムが開催されました。『地域で育むこどもたち～みんなで話そう！これからの子育て～』をテーマに里親制度の説明や里親さんや子どもと関わる地域の支援者の方からお話を聞かせていただきました。来場された参加者の方を含めそれぞれの立場から子どもたちのために地域の一員として何ができるのか考えを深める機会となりました。たくさんの方にご参加いただきありがとうございました！



児童家庭支援センターすみれは当日会場・託児スタッフとして参加しました。今後も地域の子育てのお手伝いができるよう活動してまいります。

10 月は里親月間です

里親制度は、さまざまな事情で家族と暮らせない子どもを自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解を持って育てる制度です。

里親になるまでには、じっくりと相談し、研修や実習を受けながら、里親になるかを検討する時間があります。里親に興味がある、関心があるという方は、里親支援センター希望の丘にご連絡ください。里親に関することについては里親支援センター希望の丘のホームページやInstagramをチェックしてみてくださいね。

↓ 希望の丘はこちらから ↓



SATOYAKIBOU.1001

11 月は 児童虐待防止推進月間です

子育ての中で問題となるのは親が孤立することです。子どもが泣いていたら「どうしたの？」と声をかけたり、周囲に相談できる雰囲気があれば、虐待の防止につながります。

子育てでイライラするのは、子どもにしっかり向き合っているからです。子育てがしんどいと感じた時は、誰かに話を聴いてもらったり、子どもから離れてリフレッシュする時間を持てたらいいですね。





絵本のある子育て



子どもたちは絵本を通して様々な表現や世界を体験し、言葉や想像する力を育みます。今年度は、季節に応じてすみれのおすすめの絵本をお届けします！親子でゆっくり絵本を読む時間を大事にしてみませんか。



秋のおすすめ絵本



おちばがへんしん。
おもしろ〜い。



まんまるおつきさまが
あれあれ〜。



いつものおさんぽが
ピンチ！かも？

「絵本は子どもたちによんであげるもの」

子どもは大人に読んでもらうことで安心感を得ることができ、その安心感の中でお話の世界を楽しむことができます。文字が自分で読めるようになって、子どもたちが望むときに読んであげてくださいね。秋の夜長。親子で楽しいひとときを。



すみれの窓から

「大阪関西万博 2025」

このコーナーでは、すみれのスタッフが日頃感じていること、伝えたいと思っていることなどをまとめています。今回はすずき心理士からです。

半年間に渡った大阪関西万博の終幕が近づいています。私は5月に友人と万博を訪れ、すっかり魅了されてしまった一人です。その時はまさか何度も訪れるとは思わず通期パスを取得しなかったのですが、結局8回大屋根リングをくぐり、各国各企業のパビリオンを楽しませてもらいました。何がそんなに私を惹きつけたのだろう、と考えてみるとそれは“五感への刺激”“新しい知識”との出会いだったように思います。どこからともなく流れてくる音楽、ダンスを踊る人々、パビリオンに入った瞬間に感じるその国の匂い、初めて知る各国の政治や文化。これらを一瞬にして知ることができ、“もっと知りたい”という好奇心を掻き立てられたのです。昨今のこどもたちは与えられた情報を受動的に取り込むことが多いと言われています。“この地球（ほし）の続きを”変えてくれるこどもたちが能動的に遊び学べるよう、私たち大人がその姿を見せていきたいと感じた万博でした。



★11月のプログラム★

日時：令和7年11月29日（土） 内容：『モルックをしよう！』

詳細は広畑学園 チャレンジクラブのホームページをご確認ください。

＊11月のプログラムについては、10月中旬頃にホームページにてご案内します。

＊年度ごとに登録が必要です。新規登録（新1年生・令和7年度から初めて登録するお子さん）をご希望される方は、事前に登録が必要となります。すみれまでお問合せください。

★今後の予定★

令和8年1月17日・3月7日に活動を予定しています。

＊予定が変更になる可能性もございますので、ホームページをご確認ください。

社会福祉法人あいむの事業

ご利用については、各施設へお問い合わせ下さい。

アメニティホーム広畑学園 Tel079-236-1630

子育て短期支援事業（姫路市からの受託事業）

保護者の方が疾病などの理由および社会的な理由により一時的に家庭でお子さんを養育できない時に、施設（アメニティホーム広畑学園：児童養護施設）でお預かりすることが出来ます。利用には姫路市子育て支援室での手続きが必要となります。

病児・病後児保育事業（姫路市からの受託事業）

保育所等へ通所しているお子さんが病中または病気の回復期にあつて保育所等へ通えず、保護者の方が仕事のため家庭で養育できない時に、施設（アメニティホーム広畑学園）でお預かりすることが出来ます。利用には登録・および医師の診断書が必要です。

（姫路市外の方もご利用できます。利用の流れの詳細は、ホームページをご確認ください。）

チコハウス山びここども園 Tel079-239-0242

すくすく教室・とことこ教室

就園前のお子さんとお母さん方を対象に、毎週水曜日 10時から交流ホーム1階ホールにて開催しています。リトミック・手作りおもちゃなどの保育体験活動や子育て相談を受けることもできます。

編集後記

この夏、児童相談所を舞台にした『月9ドラマ』が放送されていましたが、そのドラマを視聴していた小学生が「大きくなったら児童福祉の職員になる！」と将来の夢を話してくれました。ドラマの演出はともかく、児童福祉に関心を持ってもらえたことを実感でき、ポジティブな反応に嬉しくなりました。年度後半に入りましたが、今一度背筋を伸ばしていきたいと思います。（みわ）

お問い合わせ



社会福祉法人あいむ 児童家庭支援センターすみれ

〒671-1102 姫路市広畑区蒲田 370-1

Tel: 079-230-4445 FAX: 079-230-4446

E-mail: sumire@aimu-wel.or.jp

